

補説2 米国の対中、対メキシコ貿易赤字の現状と今後の方向性

1. 7,000億ドルを超えた米国貿易赤字

2005年、米国の貿易赤字は7,258億ドルと過去最高を更新した。対GDP比でも約6%に達している（補説図表2-1）。

補説図表2-1 米国の貿易赤字

（単位：百万ドル、%）

	2004	2005	増加幅
貿易赤字	-617,583	-725,759	-108,176
対GDP比	5.3	5.8	0.5

【注】貿易赤字は季節調整済の数値

【出所】米国商務省

米国の貿易赤字を主要貿易相手国別にみると、中国、日本、カナダ、ドイツ、メキシコの順に赤字が多く、上位5カ国で全体の約60%を占めている。この中でも特に、中国に対する貿易赤字増加が目立つ。2005年は繊維製品の輸入急増に伴い、赤字額が通年で初めて2,000億ドルを超えた。

また、NAFTA締結国であるカナダ、メキシコに対する貿易赤字も増加しており、1994年のNAFTA（北米自由貿易協定）発効後の増加額では日本を上回っている（補説図表2-2）。

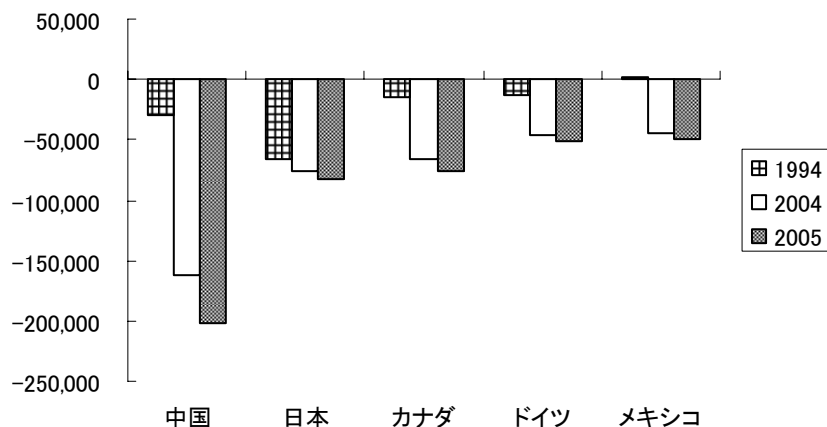
補説図表2-2 米国の貿易赤字（主要貿易相手国別トップ5）

（単位：百万ドル、%）

	1994	2004	2005	増加額	シェア
中国	-29,494	-161,938	-201,626	-172,132	26.3
日本	-65,669	-75,562	-82,682	-17,013	10.8
カナダ	-14,693	-66,480	-76,522	-61,829	10.0
ドイツ	-12,512	-45,850	-50,663	-38,151	6.6
メキシコ	1,347	-45,067	-50,149	-51,496	6.5
世界	-151,415	-650,930	-766,817	-615,402	100.0

【注】季節調整前の数値、増加額は1994年～2005年の増加額

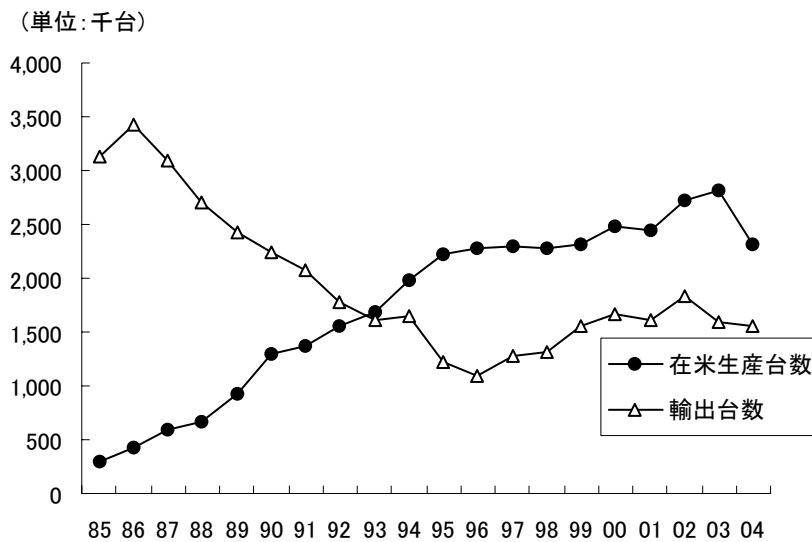
【出所】米国商務省



2001 年まで対中貿易赤字を上回っていた対日貿易赤字は、自動車の在米生産が拡大するとともに増加のペースが鈍った。補説図表 II-2 によれば、1994～2004 年の対日貿易赤字増加額は約 170 億ドルと、対中貿易赤字増加額 1,720 億ドルの 10 分の 1 以下である。

日系自動車メーカーの在米生産台数は、1993 年には輸入台数を上回った（補説図表 2-3）。在米日系自動車メーカーの生産拡大とともに、日本からの完成車の輸入は減ってきて、在米生産が輸入代替効果をもたらしている。これが結果的に、輸入浸透率の低下と在米外資系企業を含む米国自動車産業の国際競争力維持をもたらした（第 2 部参照）。

補説図表 2-3 日本車メーカーの在米生産、輸出台数の推移



【出所】日本自動車工業会

本調査の基本目的は、企業行動及び産業構造の視点に立った「経常収支のミクロ経済的アプローチ」に基づき、米国経常収支と米国産業の構造変化の関係について考察すること

である。

米国の経常収支赤字の大半は財の貿易収支赤字だが、近年、貿易収支赤字は、米国系多国籍企業の企業行動＝国際分業によって大きな影響を受ける。米国系多国籍企業は、生産性向上とともにサービス経済化を通じて利潤の最大化を図ってきた。したがって、国際分業の主な目的は、為替レート（ドル高）への対応ではなく、NAFTA 締結や新興市場国における直接投資の自由化拡大という環境変化の下での収益最大化、という仮説を立てることができる。この目的を達成するために、米国系多国籍企業は開発途上国へのオフショアリング行動を進めてきたと考えられる。したがって、ここでは米国の貿易赤字主要国のうち、開発途上国である中国、メキシコの貿易赤字に焦点を当てて分析する。

2. 米国の対中貿易赤字

(1) 米国の対中輸入額は輸出額の約 6 倍

米国の主要貿易相手国別の輸出、輸入額（主要国別、2005 年）をみると、中国は輸出に比べて輸入が約 6 倍と圧倒的に多い（補説図表 2-4）。さらに、中国から米国への輸入額を主要品目別にみると、機械・電器が最も多いが、2005 年は繊維輸入が急増した（前年比 84%）。これは、2005 年 1 月に多国間繊維協定（MFA）¹が完全撤廃されたためである（補説図表 2-5）。

補説図表 2-4 米国の輸出、輸入額（主要国別、2005 年）

（単位：百万ドル、%）

対象国	輸出	シェア	輸入	シェア
中国	41,837	4.6	243,462	14.6
日本	55,410	6.1	138,091	8.3
カナダ	211,348	23.4	287,870	17.2
ドイツ	34,149	3.8	84,813	5.1
メキシコ	120,049	13.3	170,198	10.2
世界	904,289	100.0	1,671,106	100.0

【出所】米国商務省

¹ MFAでは繊維製品の輸入の急増から国内産業を保護するために、輸入国が相手国別に輸入数量割当（クォータ）を設けることを認め、米国、EU、カナダなどが設定していた。世界の繊維製品の輸出額は約 3,600 億ドル（2001 年）であり、最大の輸出国は中国である。

補説図表 2-5 米国の中国からの輸入額

(単位:百万ドル)

	2003	2004	2005	増加率
機械・電器	39,390	56,676	72,791	28.4%
繊維	7,194	9,065	16,668	83.9%
非鉄	5,432	8,734	11,282	29.2%
靴	6,314	7,082	8,034	13.4%
その他工業製品	12,019	14,698	17,886	21.7%

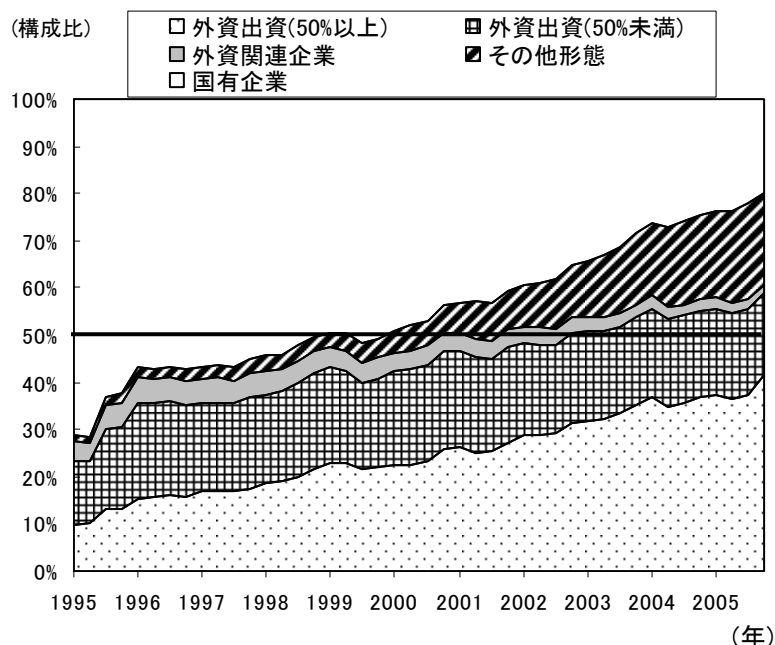
【注】増加率は2004年～2005年の増加率 【出所】CEIC

(2) 輸出拡大の担い手は外資系企業

中国における機械・電器貿易は、まず、集積回路、半導体デバイスなどの部品類を日本や台湾、韓国など主としてアジア域内から調達した後、パソコンや周辺機器、携帯電話などの完成品を欧米向けに輸出する構造となっている。これは、米国をはじめとした世界中の多国籍企業が、低コストを享受するために中国に進出して工場を建設し、世界各地に製品を供給しているためである。

こうした動きを反映して、中国の総輸出額のうち、外資系企業が占める割合は年々高まっている。2005年のデータでは、外資系企業（外資出資が50%以上）の輸出割合は42%、外資出資50%未満の企業も加えると58%に達する（補説図表2-6）。

補説図表 2-6 中国の輸出の担い手は外資系企業



【出所】CEIC

外資系企業は、機械、電器メーカー等の製造業が多いが、同メーカーの商品を扱う商社、さらには繊維、靴メーカーも含まれる。ただし、中国以外の出資は1ヵ国（例：日本または台湾のみ）しかない企業も含まれる。また、香港から出資されている企業も統計上、外資系企業として扱われている可能性がある。

外資関連企業は、外資の出資はないものの、外資との技術提携、専属契約（OEM契約）がある企業（Joint Venture）である。

その他形態には、民間の共同出資、国有ではない公共セクター所有（市の所有）、集団所有などが含まれる。

（3）輸出企業ランキング

続いて、2000年と2004年における中国の輸出企業ランキングをみると、トップ20に入っている外資系企業が2000年の1社から2004年には14社へと大幅増加している。このうち、台湾に本社を置く多国籍企業が8社と最も多く、続いて米国に本社を置く多国籍企業（以下、「米国系多国籍企業」）が5社含まれる（補説図表2-7）。

補説図表2-7 中国輸出企業ランキング（トップ20）

（単位：億ドル）

順位	2000年			2004年		
	企業名	国	輸出額	企業名	国	輸出額
1	東方国際(集団)		21.8	鴻富錦精密工業(深セン)	台湾	83.5
2	中国化工進出口(注2)		19.5	達豊(上海)電脳	台湾	83.0
3	中国海洋石油総公司		14.6	モトローラ(中国)電子	米国	57.1
4	上海紡績控股(集団)公司		12.9	長城国際情報製品(深セン)	米国	40.7
5	中国石化国際事業		12.4	名碩電脳(蘇州)	台湾	32.4
6	上海広電(集団)有限公司		11.7	ノキア(中国)投資	フィンランド	29.9
7	中国煤炭工業進出口集団(注3)		11.3	中国国際海運コンテナ(集団)		29.9
8	中国普天情報産業		11.3	冠捷電子(福建)	台湾	28.8
9	モトローラ(中国)電子	米国	11.2	東方国際(集団)		27.4
10	中国国際海運コンテナ(集団)		10.7	インテル製品(上海)	米国	26.0
11	中国船舶工業貿易公司		10.6	仁宝資訊工業(昆山)	台湾	24.2
12	中国電子進出口		10.3	明基電通情報技術	台湾	23.1
13	上海轻工控股(集団)公司		10.1	中国中化集团公司		22.6
14	中国機械装備集団		9.8	中国中煤能源集団		22.3
15	中国石油天然ガス集団		9.4	中国普天情報産業		21.4
16	中国北方工業公司		9.1	デル(中国)	米国	21.3
17	中国工芸品進出口総公司		9.1	中国石油天然ガス集団		19.6
18	上海宝鋼集团公司		8.3	佛山市順徳区順達電脳廠	台湾	17.6
19	中国五金鋁産進出口総公司		6.9	英華達(上海)電子	台湾	17.6
20	中国糧油食品(集団)		6.9	シーゲート国際科技(無錫)	米国	17.4

【注1】色塗りが外資系企業 【注2】現在の中国中化集团公司 【注3】現在の中国中煤能源集団【出所】中国商務部

(4) 在中国の米国系多国籍企業の企業行動

続いて、在中国の米国系多国籍企業の企業行動を分析する。まず、米国の中国からの財の輸入の内訳をみると、米国親会社の中国子会社からの輸入、すなわち企業内貿易はわずか1.7% ((1)) であり、輸入総額の98%以上が独立企業間貿易である。

また、中国からの財の輸入の約98%が工業品の輸入であるが ((3))、在中国製造業子会社からの輸入はわずか1.7% ((2)/(3)) である (補説図表 2-8)。

補説図表 2-8 米国の中国からの財の輸入と多国籍企業貿易 (2002 年)

(単位:百万ドル、%)

		額	シェア
中国からの財の輸入		125,168	100.0
	米国親会社の中国の子会社からの輸入(1)	2,166	1.7
	製造業子会社からの輸入(2)	2,040	1.6
	工業品の輸入(3)	122,558	97.9
(2)/(3)(%)			1.7

注1) 工業品とは、標準国際貿易分類の一桁分類の5-9の総計

注2) 在中国子会社は過半数所有株式会社

【出所】 U.S. Dept. of Commerce, *U.S. Direct Investment Abroad: Operations of U.S. parent and Their Foreign Affiliates, Revised 2002 Estimates, 2005*, p97
ITA, *U.S. Foreign Trade Highlights*. より作成。

一方、在中国の米国系多国籍企業の財の販路内訳を見ると、総販売額のうち、米国向け輸出の割合はわずか7.6%、また親会社向け企業内輸出は5.8%にとどまる。一方で、中国現地市場向けが7割を超えるとともに、第3国向け輸出も2割を超えている (補説図表 2-9)。ここで言う第3国向け輸出は、主にアジア域内への輸出が多いと考えられる。

このように、在中国の米国系多国籍企業の主な役割は、中国現地市場およびアジア域内への販売であり、企業内貿易の占める割合は限定的であると言える。

補説図表 2-9 在中国の米国系多国籍企業子会社の財の販路内訳 (2002 年)

(単位:百万ドル、%)

		額	シェア
総販売額		37,514	100.0
	米国向け輸出	2,850	7.6
	親会社向け企業内輸出	2,161	5.8
	中国現地市場向け	26,816	71.5
	第3国向け輸出	7,848	20.9

注) 在中国子会社は過半数所有株式会社

【出所】 U.S. Dept. of Commerce, *U.S. Direct Investment Abroad: Operations of U.S. parent and Their Foreign Affiliates, Revised 2002 Estimates, 2005*, p.69 より作成。

3. 米国の対メキシコ貿易赤字

(1) 輸出の主力は自動車

米国のメキシコに対する貿易収支は、NAFTA が発効した 1994 年には黒字を計上していたが、1990 年代後半から米国経済が拡大基調をたどったため赤字に転換し、現在に至っている。

メキシコから米国への輸入額をみると、機械、自動車関連が主力を占めている（補説図表 2-10）。メキシコ政府は、保税加工区であるマキラドーラ²（2001 年 1 月に制度としては撤廃）や米国という大消費地に隣接した地理的優位性を活かし、NAFTAをはじめとする自由貿易協定や投資保護協定の拡大に努め、投資促進を図っている。特に米国と隣接する北部には、GM、フォードをはじめとした米国籍の多国籍企業が集積している。米国から部品等の中間財を輸入し、完成車としての製品を米国へ輸出する、という取引が活発に行われているため、米国とメキシコの間では自動車関連貿易が盛んである（補説図表 2-11）。

補説図表 2-10 メキシコから米国への輸入額

（単位：百万ドル）

	2003	2004	2005
機械、自動車	75,883	83,847	88,466
原油等	15,497	19,714	25,794
家具、雑貨等	9,476	12,112	13,755
食品等	5,257	6,126	6,972
その他工業製品	21,308	21,730	21,760

【出所】CEIC

補説図表 2-11 米国における自動車、自動車部品の輸出、輸入額

（単位：百万ドル、%）

対象国	輸出	シェア	輸入	シェア
日本	2,043	2.1	52,668	22.2
カナダ	52,938	53.5	69,984	29.5
ドイツ	5,133	5.2	27,128	11.4
メキシコ	16,035	16.2	42,707	18.0
世界	99,036	100.0	237,568	100.0

【出所】米国商務省

(2) 中国の主力輸出品目との差別化は可能

前述した通り、中国の対米輸出が増加しているが、中国の輸出の主力商品はパソコン、

² メキシコにおける加工貿易産業の名称。輸出のための原材料、部品、機械・設備等の輸入関税を免除される等の恩恵を受けられる。

携帯電話、繊維製品、靴等であり、メキシコの輸出の主力商品である自動車とは競合しない。このため、メキシコから米国への輸出は高水準で推移し、米国のメキシコに対する貿易赤字は減少しないと考えられる。

(3) 在メキシコの米国系多国籍企業の企業行動

続いて、在メキシコの米国系多国籍企業の企業行動を分析する。米国のメキシコからの財の輸入の内訳をみると、米国親会社のメキシコ子会社からの輸入、すなわち企業内貿易は約3割を占めている(1)。

また、メキシコからの財の輸入の約86%が工業品の輸入であるが(3)、在中国製造業子会社からの輸入も約3割を占めている(2)/(3) (補説図表2-12)。

補説図表2-12 米国のメキシコからの財の輸入と多国籍企業貿易(2002年)

(単位:百万ドル、%)

	額	シェア
メキシコからの財の輸入	134,732	100.0
米国親会社のメキシコ子会社からの輸入(1)	36,953	27.4
製造業子会社からの輸入(2)	36,637	27.2
工業品の輸入(3)	115,618	85.8
(2)/(3)(%)		31.7

注1)工業品とは、標準国際貿易分類の一桁分類の5-9の総計

注2)在メキシコ子会社は過半数所有株式会社

【出所】U.S. Dept. of Commerce, *U.S. Direct Investment Abroad: Operations of U.S. parent and Their Foreign Affiliates, Revised 2002 Estimates*, 2005, p97
ITA, *Foreign Trade Highlights*.より作成。

一方、在メキシコの米国系多国籍企業の財の販路内訳を見ると、総販売額のうち、米国向け輸出の割合は33.8%、また親会社向け企業内輸出も29.0%を占める。一方で、第3国向け輸出はわずか6.9%である(補説図表2-13)。

このように、在メキシコの米国系多国籍企業については、企業内貿易が一定程度を占めている。

補説図表2-13 米国のメキシコからの財の輸入と多国籍企業貿易(2002年)

(単位:百万ドル、%)

	額	シェア
総販売額	102,124	100.0
米国向け輸出	34,471	33.8
親会社向け企業内輸出	29,615	29.0
メキシコ現地市場向け	60,630	59.4
第3国向け輸出	7,022	6.9

注)在メキシコ子会社は過半数所有株式会社

【出所】 U.S. Dept. of Commerce, *U.S. Direct Investment Abroad: Operations of U.S. parent and Their Foreign Affiliates, Revised 2002 Estimates*, 2005, p.69 より作成。

4. まとめ

米国の対中貿易赤字は、機械・電器類を中心として中国から米国への輸出が高水準で推移するため、今後も大幅な赤字が続くだろう。ただし、中国における米国系多国籍企業の主な役割は中国現地市場およびアジア域内への販売であり、企業内貿易は少ない。

一方、米国の対メキシコ貿易赤字は、従来からメキシコが得意とする自動車では、中国との輸出製品の差別化が図れるため、赤字傾向は続くだろう。さらに、メキシコにおける米国系多国籍企業は、メキシコ現地市場向け販売とともに米国親会社向け企業内貿易も一定の割合を占めている。